

# いしかりの家計簿

A Housekeeping Book of Ishikari City



石狩市

# 1 はじめに

平成 17 年 10 月 1 日の合併に伴い、石狩・厚田・浜益が新たな石狩市として、スタートを切りました。

合併したことにより、これまで旧 3 市村個々ではなかなか行うことが難しかった事業や、アイデアなどを実行することが可能な環境になり、より魅力的なまちとして変貌を遂げようとしております。

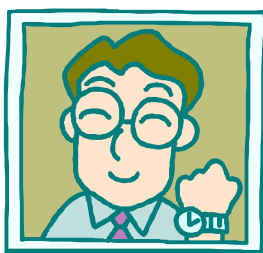
一方で、これまで旧石狩市のときからお知らせしているように、本市の財政状況は極めて厳しい状況にあり、また旧 2 村においても同様に厳しい財政運営を強いられてきたことから、合併後に直ちに財政状況が好転するという状況がないというのが現状であります。

そこで、現在より確固とした財政基盤を確立するために、市役所一丸となって聖域なき事務事業の見直しを行っております。

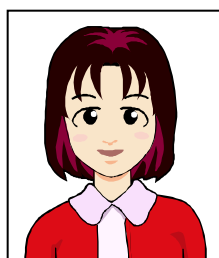
今後、石狩市が魅力的なまちになっていくためには、職員のみならず、市民の皆さんのご理解とご協力が必要不可欠です。そのためにも、多くの市民の皆さんにこの「いしかりの家計簿」をご覧いただき、現在本市がおかれている状況を知っていただければと思います。

## 2 家族構成

ここでは、市の財政をあるご家庭の家計に例えてご説明いたします。なお、その家庭は、下記のとおり市郎さんと市子さんのご夫婦と子ども 3 人(長女特会さん・長男市太郎君・次男市之介君)の 5 人で構成されています。



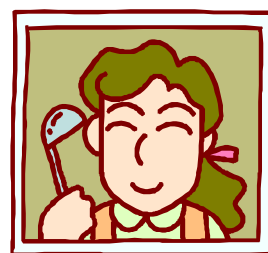
夫：市郎さん  
41歳の会社員



とくえ  
長女：特会さん  
19歳の大学1年生  
で、現在一人暮らし



長男：市太郎くん 次男：市之介くん  
産まれたばかりの双子の兄弟
















妻：市子さん  
38歳の専業主婦

とくえ  
特会さんの名前の由来 ... 特定の事業の歳入・歳出を一般会計と区別するために特別会計を設置できます。市では、平成 18 年度時点で国民健康保険などの 11 の特別会計を設置しています。

なお、次の会話に出てくる金額は、平成 17 年度の市の決算額を人口（平成 18 年 3 月末：61,347 人）で割ったものです。

### 3 ある日の会話

	あら、銀行口座に振り込まれるお父さんの給料の額、めずらしくあがっているわよ！
	えっへん。それは、今月から市太郎・市乃介を扶養することにより、給料の基本給（市税などの自主財源 <sub>1</sub> ）と諸手当（国・道支出金や地方交付税などの依存財源 <sub>1</sub> ）のうち特に諸手当が増えたためだよ。
	先月（平成17年度）の給料の内訳はいくらだったの？
	確か基本給（市税などの自主財源）は15万1千円、諸手当（国・道支出金や地方交付税などの依存財源）は18万6千円で、合計33万7千円だったな。
	その他に前の月（平成16年度）からの繰り越しが2千円、子供の出産準備や生活費に充てるために6万8千円ローンを組んで、それでも足りなくて貯金を2万4千円おろしたわね。 つまり、我が家の先月（平成17年度）の借金を含めた収入は、43万1千円になるわね。
	いや～、うちもいよいよゆとりある生活ができるね～。
	ちょっとまって！いままであんなに苦労していたのに、そんな簡単にいい暮らしになるはず無いじゃない。それに、諸手当だっていつまでも増加していくわけではないでしょ？
	…、確かに子供が増えたことによって一時的に諸手当が増えたけど、 <u>今後は年齢の経過に伴って減らされていくんだ。</u> <sub>1</sub> だから、 <u>基本給が増えてこない</u> と、 <u>結局給料はさがってしまうねえ</u> ～。 <sub>2</sub>
	お父さん、私の生活費も物価の上昇で益々上がってきているわ。何とかしようと努力はしているんだけど、なかなか…。
	やっぱり、全部が良いって言う話ではなかったのね。それじゃ、お金の使いみちをもっともっと真剣に考えなきゃね。
	そうだね。それには、何にどのくらいお金をかけているか知る必要があるな。ところで、先月（平成17年度）の我が家の家計はどうなの？
	ちょっと待って。家計簿を見るから。えーと、食費（人件費 <sub>3</sub> ）が7万7千円、教育費・医療費（扶助費 <sub>3</sub> ）が3万7千円、ローン返済（公債費 <sub>3</sub> ）が5万7千円、光熱水費（物件費 <sub>3</sub> ）が5万5千円、家の修繕費（維持補修費 <sub>3</sub> ）が1万8千円、サークル等各種会費（補助費等 <sub>3</sub> ）が6万6千円、特会への仕送り（繰出金 <sub>3</sub> ）が4万4千円、テレビの購入（建設事業費 <sub>3</sub> ）が3万6千円、貯金（積立金 <sub>3</sub> ）が3万3千円、株式投資（投資及び出資金 <sub>3</sub> ）が7千円で、合計で43万円だったわ。
	うわぁ～、今月は3万3千円も貯金できたんだ！やっぱり余裕が出来てきたんじゃないか…。

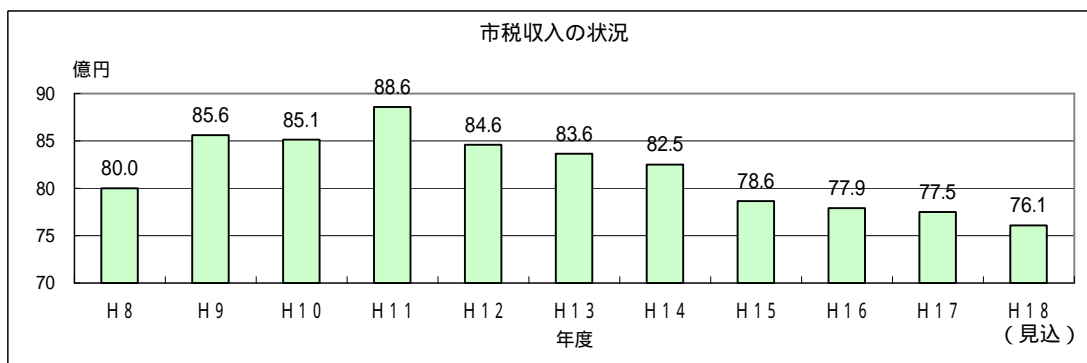
## 1 自主財源と依存財源

自主財源とは、市税、使用料・手数料、諸収入など、市がみずから直接調達できるお金のことであるのに対し、**依存財源**とは、国庫支出金、道支出金、地方交付税などのように、国や道などに依存している財源をいいます。

また、依存財源のうち、普通交付税については、合併後10年間に限り、旧3市村が合併していなかった場合にそれぞれがもらえていたと考えられる交付税を合算した額がもらえます(しかし、11年目以降については段階的にその額が引き下げられていきます)。

## 2 市税の推移

自主財源の大部分を占める市税は、市が自主的にまちづくりを進めるうえで、重要な役割を果たしていますが、平成11年度をピークに**減少し続けています**。



注：数値は旧3市村合算値













## 3 人件費、扶助費、公債費？

市の支出を性質別に分類したときに用いられる経費が、人件費、扶助費、公債費などです。

これらの用語は、家庭においては普段使われていないものが多いことから、「いしかりの家計簿」では人件費を食費、扶助費を教育費・医療費、公債費をローン返済などのように置き換えています。

なお、人件費などの説明は次のとおりです。

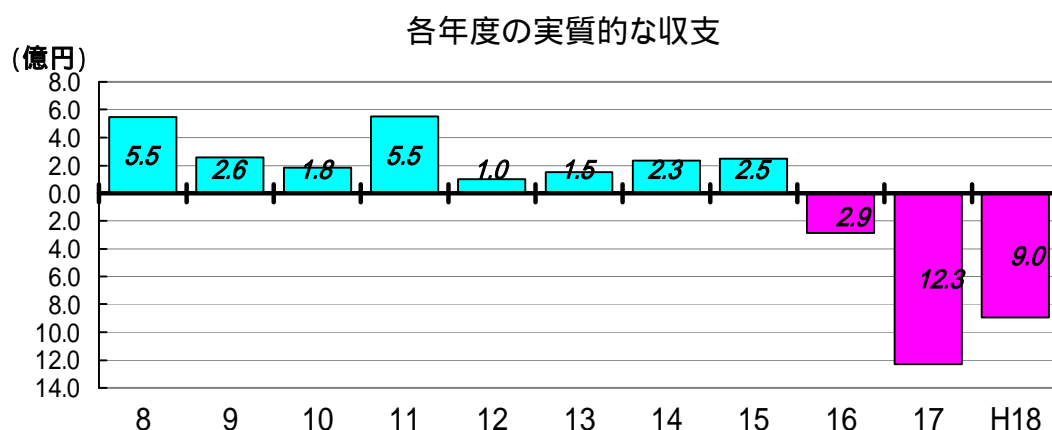
経費区分	内 容
人 件 費	職員の給料や手当及び議員報酬などの経費。
扶 助 費	社会保障制度の一環として、生活困窮者、児童、老人、心身障がい者などを援助するための経費。
公 債 費	借入金の元金や利息を支払う経費。
物 件 費	消耗品や旅費、公共施設の運営などの経費。
維持補修費	公共施設の補修や道路の除雪などの経費。
補助費等	様々な団体などへの補助金、ごみ処理や消防など市町村等の事務の一部を共同で処理するために設立された組合への負担金などの経費。
繰 出 金	国民健康保険事業や下水道事業などの特別会計に支出する経費。
建設事業費	道路、公園、学校等の公共施設を建設するための経費。
積 立 金	収支不足を補てんする基金や、公共施設の建設など、特定の目的のための基金への積立金。
投資及び出資金	財団法人などへの出資などのための経費。

	これは子供達の出産祝い金を貯金したもので、我が家の将来にとって必要な資金なの！それにこれまでのように、赤字を貯金で埋めていくと、本当に首が回らなくなっちゃうのよ！
	貯金ってもうほとんどないの？
	自由に使える貯金はありません！！だから定期に入れて、何かあった時のためにためている貯金通帳から一時的に借りて収入の穴埋めをしている状況なのよ！！ <sup>4</sup>
	そっか～…。子供達のためにもこの貯金は大切に使わないとね。
	そうよ、そのためにもローンでの購入は極力抑えて、貯金を赤字解消のために取り崩さなくても生活できる生活基盤をつくらないと！
	う～ん、でもうちはここ数ヶ月、かなり努力して家計の改善に努めているけど、気がつけば借金の残高は60万円 <sup>5</sup> に増えているし、なかなか明るい兆しが見えてこないね～。
	何を弱気なことを言ってるの！！家族も増えてこれから新しい生活を始めようとする今こそ頑張りどきじゃない！
	よ～し！！…で、これからどうしたらいいんだろうか。
	まずは、先を見据えて、さっき言った基盤作りに取り組むこと。そのためには、今まであまり手をつけていなかった部分の支出にも、分け隔てなく手をつけて徹底的に見直していかないとね。 <sup>6</sup>
	私も、これまで以上に自分の生活費に無駄がないか気をつけるわ。
	いつもすまないな、特会。
	いいのよ。生まれたばかりの弟たちのためにも、みんなで力を合わせて頑張らないとね！

#### 4 うちの貯金はほとんどない？

家庭における貯金を市では基金と呼んでいます。その種類には年度間の財源の不均衡を調整するための財政調整基金、地方債の元利償還金の財源に充てるための減債基金、庁舎を建設するなど特定目的のための基金があります。また、昨年の合併に伴い、一体感のあるまちづくりに取り組むための資金として「合併まちづくり基金・厚田地域づくり基金・浜益地域づくり基金」の3つの基金が新たに設立されました。

財政調整基金については、これまで歳入不足による取り崩すための財源として活用してきましたが、底をついてしまいました。そのため、現在は本来特定の目的のために利用する他の基金から一時的にお金を借りて、歳入の補てんを行っております。



注 上記のグラフは基金の取崩しなどを行わなかった場合の実質的な収支状況（数値は旧3市村合算値）

#### 5 市民1人当たりの借金残高？

地方全体の財政状況の悪化に伴う財源対策などにより、市の借金は大幅に増加しました。また、合併による旧2村の債務を引継いだ結果、平成17年度末には379億円になり、市民1人当たりになると約60万円にもなります。

このため、今後さらに将来の借金返済額に留意しながら財政運営を行うことが必要です。

#### 6 徹底的な見直しとは？

本市では、これまで財政構造改革を積極的に推し進めるなど、財政構造の健全化に取り組んで参りましたが、市税と地方交付税の大幅な落ち込みにより、恒常的な財源不足に陥っています(上記『各年度の実質的な収支』参照)。

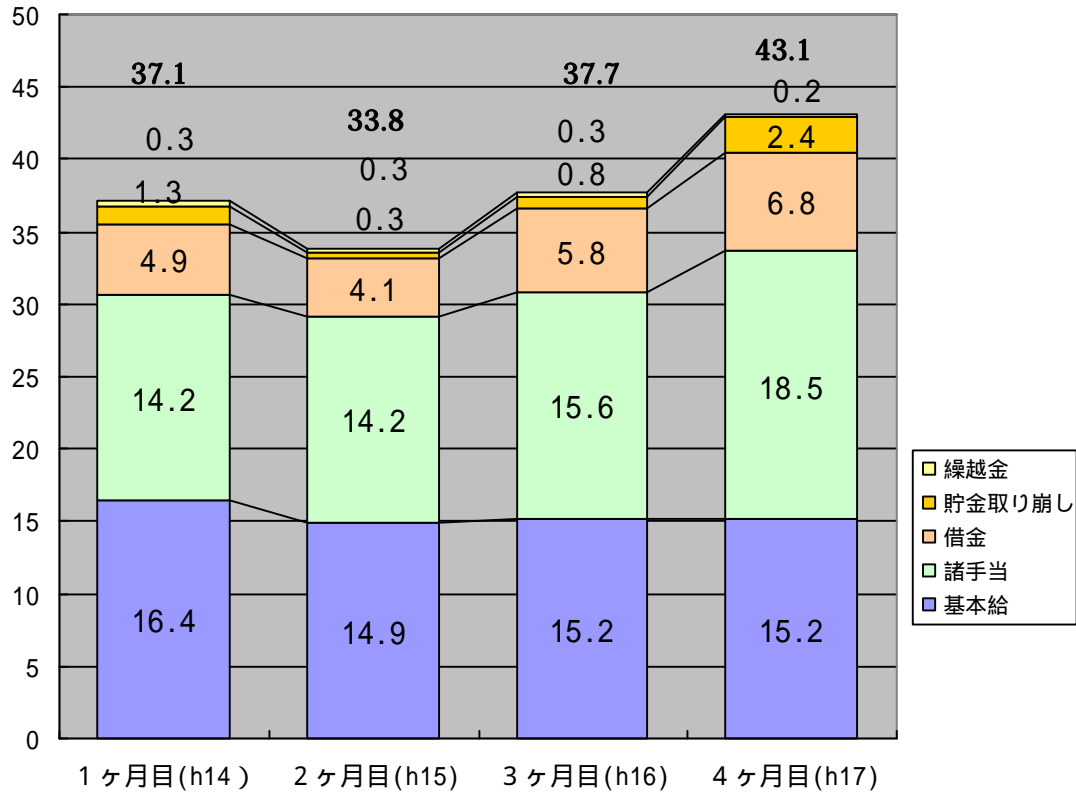
そこで本年度は、19～23年度の5年間で、収支バランスを黒字化に改善することを目標に全事業の見直し作業を行っております。今回の見直しは、一律事業費カットのような総額を調整するようなものではなく、全ての事業を1つずつ精査し、その事業が必要かどうかというところから議論を行っております。

～家計簿をつけ始めてからの収入・支出の推移～

【収入の部】

収入(合計)

(単位：万円)



注：1～3ヶ月目の数値は旧石狩市のみ、4ヶ月目の数値は合併後数値



(お父さんから一言)

収入は、基本給の減少分を貯金の取り崩しでカバーしているのが現状です。

諸手当については、今後は減少していく傾向にあると考えられます。

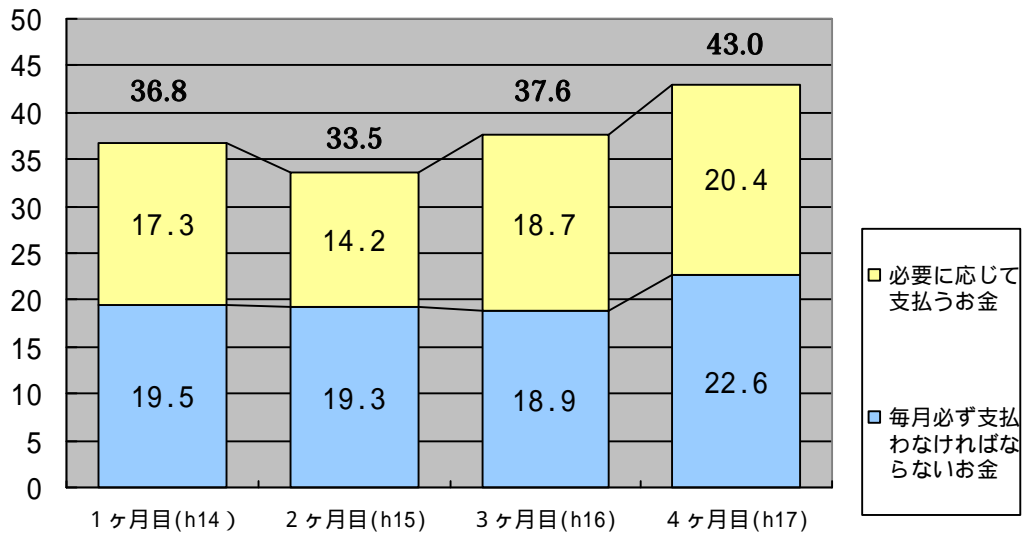
そのため、今後は、基本給を増やし、貯金の取り崩しをしない体質を目指します！！



## 【支出の部】

### 支出額(合計)

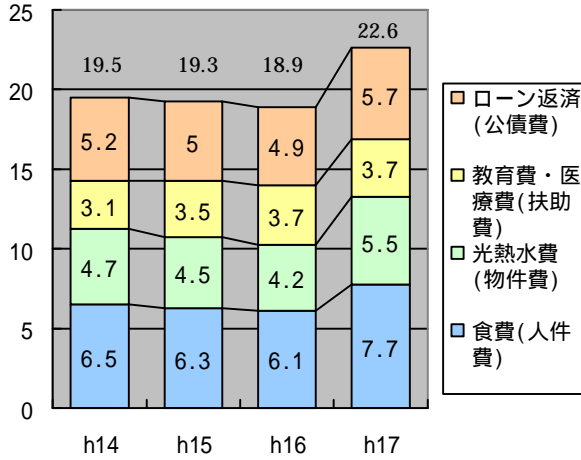
(単位：万円)



注：1～3ヶ月目の数値は旧石狩市のみ、4ヶ月目の数値は合併後数値

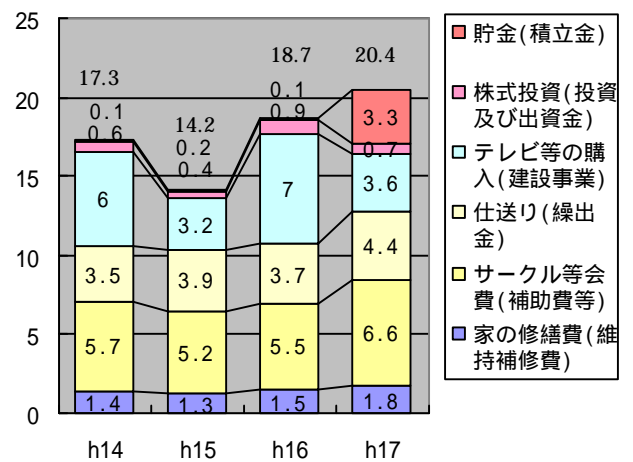
#### 毎月必ず支払わなければならないお金

(単位：万円)



#### 必要に応じて支払うお金

(単位：万円)



(お母さんから一言)

支出は、必要に応じて払うお金を中心に見直しを行ってきたけど、これからは、必ず支払わなければならないお金についても、無駄がないか徹底的に見直すわ！！



## 4 おわりに

今回は合併によって予算規模が膨らんだため、どの項目についてもこれまでより数字が大きくなり、比較が難しくなっています。また、給料や食費などの金額は、すべて石狩市の平成17年度決算額を平成18年3月末現在の人口で割った金額を用いているため、実際の家庭における家計簿とはかけ離れているかもしれません。

今後、さらに創意工夫を重ね、内容の充実に努めてまいりますので、お電話やFAX、Eメールなどで「いしかりの家計簿」を読んでものご感想をお聞かせ願いたいと思います。



発行：平成19年 1月

編集：石狩市企画財政部行政経営推進室企画財政課

TEL：(0133)72-3154

FAX：(0133)75-2275

E-mail：zaisei@city.ishikari.hokkaido.jp

〒061-3292 石狩市花川北6条1丁目30番地2

